

平成 26 年度 公益社団法人指宿市観光協会 事業報告

26 年度に大きく記憶に残るのは、6 月 21 日の大雨の続く中での観光特急「指宿のたまた箱」脱線事故が、マスコミやマスメディアから国内外に大きく情報発信されたことです。

そのことにより本市にマイナスイメージを与えたものの、幸い乗客には目立った怪我もなく、また土曜日で学校の休みに関わらず地元指宿商業高校の部活の生徒さんや教員、事務員の速やかな判断により教室等を乗客に避難場所として一時提供してくれたこと、かたや市、協会がその敏速で素早い対応により、乗客の誰一人としてJRへの批判がでなかったことです。

このことは、人であれば当然としての行為ではありますが、中々その状況下に置かれた場合、うまく行動できないのが常といえますが、これが当たり前のように動けるのは、普段マラソン大会や、サービス業での接待において私達に身に付いた「おもてなしの心」「ボランティア精神」ではないかと思うところです。後日 JR九州社長が本市にお越しになり、市や商業高校、当観光協会に直接、その感謝状を渡されたことは記憶に新しいところであります。

さて、前年度においては、指宿港海岸整備促進協議会を代表する大きな事業や指宿・枕崎線の活発化と促進を目的とした「夢たまプロジェクト」による特別列車「ワイン列車ツアー」運行、個人型プログラムを顕彰・実施する観光庁事業「観光地ビジネス創出の総合支援事業」、台湾・北投温泉との姉妹盟約締結、指宿駅開局 80 周年記念事業イベント等大小様々な事業・イベントをおこないました。

特に、指宿港海岸整備促進協議会においては通算10回のワークショップを重ね、対象となる摺ヶ浜海岸とその道路の約2キロ区間は塩害対策と同時に、緑地帯や海岸線及び遊歩道や道路が10年後には様変わりし、素晴らしい景観に変化、大きな遺産を次世代に残していけるものと確信が持てるようになりました。

また最近、スポーツキャンプでも柏レイソルをはじめ、昨年度 指宿市山川出身で、なでしこジャパンのゴールキーパーとして有名な福元美穂選手を擁する岡山湯郷ベルも指宿でキャンプを張っていただいたり、鹿児島ユナイテッドFCも今年から本市にキャンプを張るなど、或いはマラソン・マーチの大会は晴天に恵まれ、沢山の方々が参加していただいたりと夢と希望が持てる内容でもありました。

しかしながら、昨年度はトップシーズンでの相次ぐ台風襲来と、本市への入り込みは上がっているものの宿泊客は下降線を辿っている状況下は、このまま安穩としていられないのが実情です。

公益法人として3年目を迎える当観光協会は、上述の厳しい環境を踏まえつつも、指宿市が唱える「健幸まちづくり」構想や、地元の地の利を活かした教育旅行向けの体験プログラム等、観光客の誘致に向けた事業の推進と、市からの受託事業をしっかりと行いつつ、南薩摩の広域的(開聞・山川・南九州市・南さつま市など)な着地型観光の拠点づくりと積極的な観光受入体制の構築を着実に進めてまいります。